

授業科目	* 母性看護学演習				単位	1		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21307J		
開講年次	3年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP5-2			
担当教員	古賀 玉緒、山田 恵、前田 幸							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として、臨床における経験をいかして本科目を担当する</p> <p>本科目は、母性看護方法論における知識をふまえ、臨床実習において実施する母性看護学を実践するうえで必要な看護過程の展開方法および母性看護技術を学ぶ。</p> <p>具体的には、周産期の事例をとおして個人ワークおよびグループによる学習を取り入れて看護過程の展開方法について学習する。また、母性看護に必要な看護技術を習得する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 周産期における事例を用いて、ウエルネス診断にもとづいた母性看護過程の展開を理解できる</p> <p>1) 対象を捉えるために必要な情報を整理できる</p> <p>2) 整理した情報を既習の知識を活用し根拠に基づいてアセスメントできる</p> <p>3) 対象の全体像を的確にとらえることができる</p> <p>4) 対象の状態に応じた診断ができる</p> <p>5) 診断ごとに目標(退院までに期待される成果)が設定できる</p> <p>6) 目標に応じた看護計画が立案できる</p> <p>2. 周産期における対象の支援に必要な母性看護技術を習得できる。</p> <p>3. グループやメンバー間で意見交換を行い自己の学びを深めることができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	30	15	0	5	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	20		5				25	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30		25				55	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)				5		5	10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				10			10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準レベルを達成したうえで、討議の場では自己の意見を発表し学びを深めることで根拠を説明できる。また、看護技術においては、自己の課題を明確にし、その解決に向けて取り組むことができる。				自律して学習に取り組み、グループワークを活用するなどしながら、周産期における事例を用いて母性看護に必要な看護過程の展開について、その方法を理解するとともに対象をアセスメントしたうえで必要な看護を導き出すことができる。				

			また、周産期看護に必要な母性看護技術を正しい方法で実施できる。	
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	母性看護技術演習(1) (古賀、前田、山田、林、その他) 妊娠期、産褥・新生児期における看護技術を実施する グループごとに分かれて上記について学習する	演習	予習: 課題を4/5に提示します。	90
2	進行1に同じ	演習	進行1に同じ	
3	母性看護技術演習(2) (古賀、前田、山田、林、その他) 妊娠期、産褥・新生児期における看護技術を実施する グループごとに分かれて上記について学習する	演習	予習: 課題①母性看護学3 母性看護技術 メディカ出版 ・妊婦:p16-22(聴診・レオポ ルド触診法・計測法) p 38-39(NST) 褥婦:p134-138(子宮復古) ・新生児:p160-163(授乳姿 勢),168-170(ラッチオン)・ p199-226(沐浴・更衣) * 学生番号を参考にし、必要 項目に関して教科書を読み講 義に臨む。	60
4	進行3に同じ	講義 演習	進行3に同じ	
5	母性看護過程における看護過程 (古賀) 1. ウエルネス診断にもとづく母性看護過程の 概要について解説する 2. 課題を活用しウエルネス診断にもとづく母性 看護過程の方法について解説する。 ・産褥期の退行性変化・進行性変化、新生児 期の健康状態	講義	予習: 課題① 「ウエルネス看護診にもとづく 母性看護過程」(医歯薬出版 株式会社)2p~29P 予習。 課題② 事前学習プリント(4/9 配布) の実施	60
6	進行5に同じ	講義	進行5に同じ	
7	母性看護技術試験 (古賀、山田、前田、林、その他) ・沐浴の試験を実施する * 試験以外の時間は課題に取り組む	演習	予習:沐浴の技術を見直し自 己練習を行う	60
8	進行7に同じ	演習	進行7に同じ	
9	看護過程の展開(1) (古賀、前田、山田、林)	講義 演習	予習:事例を用いて看護過程 を展開する	60

	一産褥期・新生児期の事例を用いて情報収集から看護計画立案までの看護過程を展開するー 1. 課題をふまえて産褥期(退行性変化、進行性変化・心理適応)のアセスメントの視点について解説する 2. 個人ワークを行い産褥期のアセスメントを完成させる		産褥期:退行性変化、進行性変化 心理適応のアセスメントまで実施	
10	進行9に同じ	講義 演習	進行9に同じ	
11	看護過程の展開(2)(古賀、山田、前田、林) 一産褥期・新生児期の事例を用いて情報収集から看護計画立案までの看護過程を展開するー 1. 課題をふまえて新生児期(健康状態・栄養養護・成長発達・家族適応)のアセスメントの視点について説明する。 2. 個人ワークを行い新生児期のアセスメントを完成させる。 3. 全体像、看護診断について解説する	講義 演習	予習:事例を用いて看護過程を展開する 新生児期:健康状態、栄養・養護 成長発達・家族適応)について情報収集アセスメントまで実施	60
12	進行11に同じ	演習	進行11に同じ	
13	看護過程の展開(3)(古賀、山田、前田、林) 一産褥期・新生児期の事例を用いて情報収集から看護計画立案までの看護過程を展開するー 1. 個々の全体像までの看護過程の結果を用いて、看護計画をグループで立案する。 ①小グループで学習の共有を行う ②大グループで意見交換を通して学びを深める ③全体で質疑応答および解説	講義 演習	予習:事例を用いて看護過程を展開する 母子の全体像・看護診断・母子の看護計画を立案する	60
14	進行13に同じ	講義 演習	進行13に同じ	
15	看護過程の展開(6)(古賀) 1. 帝王切開術をうける妊産婦に関するDVDを視聴する 2. グループごとに帝王切開をうける妊産婦の看護について意見交換を行う 3. 全体討議	講義 演習	予習:「母性看護学各論」(医学書院)P440～446, p448～449、「ウエルネス看護診にもとづく母性看護過程」(医歯薬出版株式会社)p103～112)を確認する	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	母性看護学概論、母性看護方法論において学習した内容について課題プリントも活用して復習しておいてください。			
テキスト	森恵美著：系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護学[2] 医学書院 上田森生他編：病気が見える Vol.10 第4版, MEDIC MEDIA 太田操著：ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程 第3版, 医歯薬出版 横尾京子他：ナーシング・グラフィカ 母性看護技術 母性看護学2 メディカ出版			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて資料を配布します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	母性看護学実習に必要な科目です。 講義は母性看護学概論・母性看護方法論で得た知識をふまえて解説やグループワークを取り入れて進めていきます。そのため、予習・復習や自己練習など課題の達成にむけて積極的・自主的に取り組みましょう。なお、講義内での携帯電話の使用は原則、禁止します。不明な点は教科書や教員、グループメンバーに確認するなどして解決しましょう。 講義中の携帯電話の使用は原則禁止です。また、グループメンバーや座席はグループごとに指定します。不都合のある場合は相談して下さい。 技術演習や試験では、根拠と正し			
達成度評価に関するコメント	評価は、定期試験、技術試験、看護過程レポート・課題についての内容・グループワークの参加状況などを総合して行います。 なお、“その他”については、レポートの提出期限や講義中の態度などで評価します。 また、再試験は筆記試験にて評価します。			